



発掘作業状況



遺跡で発見された頭骨

今帰仁の

グスク時代人

せりきやくなかみちばらどうけつせいせき
— 勢理客中道原洞穴遺跡の調査より —

2024.

9.21 土

入場無料

14:00~16:00
(開場 13:30)

※ 席数に限りがありますので、ご入場いただけない場合があります。予めご了承ください。

※ 会場内は、空調の影響で寒くなる場合があります。

講師 玉城 靖氏

(今帰仁村歴史文化センター 館長)

会場 沖縄県立博物館・美術館
3F 講堂

受付 当日先着 (定員 200 名)

お問合せ 098-941-8200

〒900-0006

沖縄県那覇市おもろまち 3-1-1



【講師】 玉城 靖 (たましろ やすし)

今帰仁村生まれ。沖縄国際大学卒業 (考古学専攻)、2003 年より今帰仁村教育委員会に採用、今帰仁城跡等の発掘調査に従事。2019 年より今帰仁村歴史文化センター館長。

約 10 年前、今帰仁村内の洞穴から戦没者遺骨として多くの人骨が収集されました。しかし、古墓の可能性があるので人骨の年代測定を行ったところ、グスク時代であることが判明しました。県内でもグスク時代の人骨出土例は非常に少なく、北部地域でこれほどまとまった出土は初の事例となりました。

本講演では、令和 4 ~ 5 年度に行われた洞穴遺跡の発掘調査の成果を中心に、今帰仁のグスク時代人についてお話しします。

あなたの沖縄に出会う